



国土交通省近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局	配布日時	平成29年 9月25日 14時00分
資料配布		

件名	<p align="center">プレゼンを希望する民間事業者等を募集します！</p> <p align="center">インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム『第2回ピッチイベント』開催</p>
----	--

概要	<p>○「インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム」では、自治体が抱える施設管理の課題（テーマ）に対し、民間事業者などが保有する最新のシーズ技術^{*1}を広く共有し、技術の発掘と社会実装、連携の促進を図る「ピッチイベント^{*2}」を開催します。</p> <p align="center">※1 メーカー・企業などが提供する技術や商品等 ※2 短い時間で自社の製品やサービスを紹介（プレゼン）するイベント</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【テーマ】</p> <p>① 路面下空洞厚さ調査を支援する技術 ② 法面点検（目視点検）を支援する技術 ③ 常時水没している構造物の点検の効率化技術 ④ 化粧板下の清掃、滞水除去技術</p> </div> <p>■日時：平成29年10月26日（木） 13:00～16:30 ■場所：「建設技術展 2017近畿」 マイドームおおさか 8階 第3会議室 （大阪府中央区本町橋 2-5）</p> <p>○ピッチイベントで「プレゼンを希望する民間事業者等」及び「傍聴参加者」を募集します。</p> <p>（参考） 「インフラメンテナンス国民会議」とは、社会全体でインフラメンテナンスに取り組む機運を高め、未来世代によりよいインフラを引き継ぐべく、産学官民が有する技術や知恵を総動員するために設立されたプラットフォームです。 （詳細はhttp://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/im/index.htmlをご参照下さい。）</p>
----	---

取扱い	—
-----	---

配布場所	近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ
------	--------------------

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局	
	<p>企画部 事業調整官 福岡 成和</p> <p>企画部 企画課課長補佐 川島 隆宏</p>	<p>ふくおか まさかず かわしま たかひろ</p>
TEL : 06-6942-1141（内線 3116、3156）、06-6942-4090（直通）		

インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム
第2回ピッチイベントの開催
【プレゼンを希望する民間事業者及び傍聴参加者の募集】

インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラムでは、これまでに、公共施設を管理する自治体から寄せられたメンテナンスに係る課題解決に向けてフォーラムを開催し、自治体が抱える課題について民間事業者のアイデアやノウハウなどをもとに議論を重ねてきました。

今回、民間事業者などが保有する最新の技術やノウハウを持ち寄り、シーズ技術を広く共有し、技術の発掘と社会実装、連携の促進を図るピッチイベントを建設技術展（2017 近畿）会場において下記のとおり開催します。

つきましては、ピッチイベントで別紙1に示す4つの課題に対し、保有するシーズ技術をプレゼンテーションしていただく民間事業者等及び傍聴参加者を募集します。

※本ピッチイベントの結果、公共施設管理者のニーズに適応する可能性が高いと認められた技術については、実用化の可能性を検証するフィールド実証実験の実施を想定しています。なお、実証実験に必要となる諸費用については、原則、民間事業者などのご負担とします。

記

- ・開催日時 : 平成29年10月26日（木）
13:00～16:30
- ・開催場所 : 建設技術展 2017 近畿
マイドームおおさか 8階 第3会議室
大阪府中央区本町橋 2-5
- ・その他 : 1社あたり10分程度のプレゼンテーションを予定
- ・問い合わせ先 : インフラメンテナンス国民会議近畿本部事務局
(一般社団法人 国土政策研究会関西支部)
メールアドレス : kansaishibu@kokuseiken.or.jp

申 込 要 領

【プレゼンを希望する民間事業者参加の申込み】

1. 参加資格

シーズ技術を持つ民間事業者等※

※ インフラメンテナンス国民会議の会員でない民間事業者等は、申込にあわせて会員登録をご検討頂きますよう、よろしく申し上げます。会員登録については、<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/im/login/index.html>をご参照下さい。

2. 申込み手続き

申込み方法：提出資料を電子メールにて申込み先に送付

提出資料：①参加申込書（別紙2）

②情報提供を予定しているシーズ技術の概要・コスト・適用条件・アピールポイント・開発状況・その他参考内容（任意様式A4×1枚程度）

③実施事例がある場合、状況写真等（任意様式A4×1～2枚程度）

申込み先：インフラメンテナンス国民会議近畿本部事務局
（一般社団法人 国土政策研究会関西支部）

アドレス：kansaishibu@kokuseiken.or.jp

3. 申込み期限

平成29年10月6日（金）12：00まで

4. 参加者の決定

事務局において申込み事業者の中から書類選考により決定（各テーマ数社）

5. 選考結果の通知

平成29年10月11日（水）（予定）までに申込み事業者の連絡先に通知

6. 参加の申込みに際しては、次頁の留意事項をご確認下さい。

【傍聴参加の申込み】

1. 申込み手続き

定員：70名（申込み先着順）

申込み方法：提出資料を電子メールにて申込み先に送付

提出資料：ピッチイベント傍聴申込書（別紙3）

申込み先：インフラメンテナンス国民会議近畿本部事務局
（一般社団法人 国土政策研究会関西支部）

アドレス：kansaishibu@kokuseiken.or.jp

なお、当日の入場も可能ですが、席数に限りがあります。

2. 申込み期限

平成29年10月6日（金）12：00まで

3. 参加の申込みに際しては、次頁の留意事項をご確認下さい。

留 意 事 項

【知的財産権に関する主な留意事項】

- ピッチイベントは、オープンな場として運営することを基本とし、自らの技術を紹介する場合には、自らの責任においてこれを行うことが求められており、秘匿すべき情報は、その場に持ち込まないことを前提とします。
- 一方、議論する中でさまざまなアイデアが出されることが想定され、これを基に、ある参加者が発明を創出し、特許出願などにより知的財産権が成立する可能性も否定できません。
- アイデアを得て参加者が技術開発を行い、発明に至った場合や申請を行った場合には、技術開発を行った者に知的財産権が認められるものと考えられます。
- また、議論を通じ、技術開発の共同グループが形成される場合には、知的財産の取扱いについて、あらかじめ当事者間で取決めておくことが望ましいです。
- 参加者は、この基本的な考え方に同意して出席する必要があります。

【著作権に関する主な留意事項】

- 参加者は、提出した資料等に係る著作権に関し、事務局等が当該資料を利用（複製や公衆通信などを含みます。）することを許可することとし、また、著作者人格権を行使しないことに同意することとします。
- また、参加者は、提出資料に記載された文書、図表、写真、イラストなどの著作権等に留意し、使用許可が必要な場合は、参加者の責任において必ず許可を得ておくこととします。

※参加者には、「インフラメンテナンス国民会議運営上の知的財産の取扱いに関する事前の取決めとなるガイドライン」を通知いたします。

★テーマ①

路面下空洞厚さ調査を支援する技術

【要件：求める技術】

- 路面下空洞調査において、空洞の厚さを確認する技術

【現状】

現在運用されている路面下空洞の探査技術では探査車等により空洞の深さと広がり概ね確認できている。

空洞厚さについては、空洞を通過した反射波が明確でないためボーリング調査に頼らざるを得ない状況である。

ボーリング調査は交通規制を伴い、1ヶ所あたりの調査費用も高く非効率であるため、極力減らしたい。このため、探査車等を用いた非破壊調査で空洞の厚さも把握することは効率的な調査を実施する上で喫緊の課題である。

そこで空洞厚さを計測するため、探査車等を用いて直接計測する技術や計測データの解析技術等の技術開発提案を求める。

★テーマ②

法面点検（目視点検）を支援する技術

【要件：求める技術】

- 道路法面において、崩壊等の恐れがある危険箇所の抽出に際しスクリーニング等を効率的に行う技術

【現状】

地方公共団体の道路の管理延長は数千キロにおよび、道路法面の数は膨大なものになっている。

これらの法面すべてを目視点検することは、著しく困難である。

従って、崩壊の恐れがある危険箇所を事前に抽出し、当該法面を優先的に目視点検する必要が生じている。

フォーラムでの討議の結果、事前の机上の調査のみでは危険箇所の抽出（スクリーニング）は困難であること。スクリーニングには、座標（3Dを活用）を特定した当該法面の目視点検データの積み重ねが必要。また目視点検時にはレーザー技術などを活用した詳細な地形図が必要等の議論がなされた。

そこで、スクリーニング技術や目視点検時を支援する技術など幅広い技術提案を求める。

★テーマ③

常時水没している構造物の点検の効率化技術

【要件：求める技術】

- 常時水没している河川や港湾構造物（鋼、コンクリート）の水中部での目視点検を支援する技術

【現状】

現状では、常時水没している土木構造物の点検は、主として潜水士が目視点検を行っている。

そのため、大阪市では、職員の潜水士が点検を実施している。

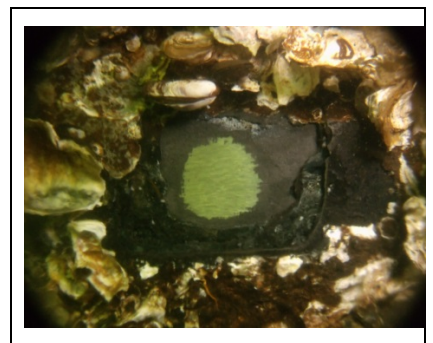
水中は作業時に発生する濁りや浮遊物により視界が悪く、対象物、損傷等の視認が困難である。また、構造物には水中生物（貝類、藻類など）が付着しているため、除去が必要である。

今後、河川構造物や港湾構造物の老朽化が進む中、点検の需要がますます増大することが予想されることから、点検作業の効率化が求められている。

そこで、水中での点検作業の困難性を十分理解し、目視点検を支援でき効率的で精度の良い技術を求める。

《参考状況》

以下の写真等は上記現状の一例を示すものである。



★テーマ④

化粧板下の清掃、滞水除去技術

【要件：求める技術】

歩道橋、地下道・アンダーパス、橋梁等において、景観等配慮し設置された化粧類（天井板含む）内部における現場施設の支障物（鳥の巣、糞害、滞水など）状況を鑑み、

- ① 点検準備として、近接することが困難な条件下での清掃や滞水除去を行う技術
 - ② 対策手法として、鳥害や滞水を発生させない技術
 - ③ 点検時に支障物が残置していても詳細点検を行える技術
- について技術提案を求める。

《参考状況写真》

以下の写真等は上記条件の一例を示すものであり、狭隘な場所が多く、大型の機器の搬入はできない。



インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム 第2回ピッチイベント プレゼン希望民間事業者申込書

年 月 日

参加を希望するテーマ番号 (複数可)	<input type="checkbox"/>	テーマ①	:	路面下空洞厚さ調査を支援する技術
	<input type="checkbox"/>	テーマ②	:	法面点検(目視点検)を支援する技術
	<input type="checkbox"/>	テーマ③	:	常時水没している構造物の点検の効率化技術
	<input type="checkbox"/>	テーマ④	:	化粧板下の清掃、滞水除去技術
フリガナ				
企業・団体名				
フリガナ	〒			
所在地				
フリガナ				
プレゼン者氏名				
フリガナ		フリガナ		
所属		役職		
連絡先メールアドレス				
電話番号				

※申込はピッチイベント参加希望テーマごとに電子メールにて行ってください。(申込書・提出資料を添付)

申込みアドレス kansaishibu@kokuseiken.or.jp

※申込の際の電子メールの件名は『ピッチイベントプレゼン参加申込』として下さい。

※電子メールのサイズは10MB未満(添付ファイル含む)として下さい。

※申込にあたっては、本申込書とともに以下の資料の提出をお願いいたします。

(ア)情報提供を予定しているシーズ技術の概要・コスト・適用条件・アピールポイント・開発状況・その他参考内容

を記した資料(任意様式A4×1枚程度)

(イ)実施事例がある場合、実施内容・実施状況(写真)等が判る資料(任意様式A4×1~2枚程度)

※ご記載いただいた個人情報については、本人の同意なく、当ピッチイベント以外で利用することはありません。

インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム 第2回ピッチイベント 傍聴参加申込書

年 月 日

フリガナ			
企業・団体名			
フリガナ			
1 参加代表者			
フリガナ		フリガナ	
所属		役職	
所在地	〒		
メールアドレス			
電話番号			
	氏名	所属	役職
2 参加者			
3 参加者			
4 参加者			
5 参加者			
6 参加者			

※ 申込は電子メールにて行ってください。(申込書を添付)

申込みアドレス kansaishibu@kokuseiken.or.jp

※ 申込の際の電子メールの件名は『ピッチイベント傍聴申込』として下さい。

※ ご記載いただいた個人情報については、ご本人の同意なく、当ピッチイベント以外で利用することはありません。